

# ミャンマー民主化のゆくえ

## アウンサンスーチーとノーベル平和賞

スーチーさんと長年親交があり、民主化運動を支援してきた本学の二人の教員が、ミャンマーで今起きていることについて語る

長年にわたり軍事政権の下で国民が苦しんできたミャンマー（ビルマ）に、やっと民主化の動きが出てきた。テインセイン大統領の改革政策を国際社会は歓迎し、日本政府も ODA（政府開発援助）の再開を表明した。民主化運動の指導者でノーベル平和賞受賞者のアウンサンスーチーさんは、24年ぶりの海外歴訪で、民主化のさらなる前進にむけた世界の人びとの支援をうったえとともに、今後の展開に慎重な姿勢もみせている。

21年遅れのノーベル平和賞受賞演説に込められた彼女のメッセージは、グローバル化時代に生きる私たち一人ひとりにさまざまな問いかけをしているはずである。



新ビルマからの手紙  
1997～1998/2011  
アウンサンスーチー  
著 永井浩 共訳

### 講師

毎日新聞記者として外信部、バンコク特派員、編集委員などを歴任。今年3月まで神田外語大学教授。『新ビルマからの手紙 1997～1998/2011』訳者。著書に『カンボジアの苦悩』（勁草書房）、『アジアはどう報道されてきたか』（筑摩書房）、など。



永井浩氏



エイ チャン氏

### コメンテーター

神田外語大学アジア言語学科教授。ミャンマー（ビルマ）出身。京都大学大学院留学後、ヤンゴン大学文学部講師に就任。ビルマの民主化運動に参加して、政治犯として捕われ、1990年から7年間、獄中生活を送る。その後、米国に亡命し、ニューヨーク州バード大学講師に。2001年来日、本学へ。京大時代より、級友としてアウンサンスーチー氏と親交がある。

### 日時

7月10日(火)

16:50～18:20(開場:16:20)

### 会場

神田外語大学7号館2階  
クリスタルホール

### 司会

矢頭典枝

(本学英米語学科 准教授 / 当研究所 副所長)

▲アウンサンスーチー 著 永井浩 共訳

『新ビルマからの手紙 1997～1998/2011』毎日新聞社(2012年3月発行)

神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp